



ツアー・オブ・ジャパン伊豆ステージ優勝の新城



全日本自転車競技選手権ロードレース	2
ジャパントラックカップ	6
リオ・オリンピックパラリンピック日本代表選手	8
日本代表選手団/連盟の動き	9
競技大会結果	10
維持会員ご賛同方お願い	13
男子エリート・ロードレースランキング	13
第22回 アジアMTB選手権大会	14
2016年BMXアジア選手権大会	15
ツアー・オブ・ジャパン2016	16
日本新記録/今後の大会予定/NEWS	19
日本代表選手団	20
第63回全日本プロ選手権自転車競技大会	21
やわたはま国際MTB2016	22
第33回全日本BMX選手権大会	24



KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING! プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGRING! 

2016 Japan Cycling
**National
Championships**
in OSHIMA



40



第 85 回全日本自転車競技選手権ロードレース
第 20 回全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース
2016 日本パラサイクリング選手権ロード大会





男子エリートBSの1・2フィニッシュ

男子エリート ロードレース

11.9 km×13周=154.7 km

全日本選手権ロード最終日はエリート男子個人ロードレース。風が多少吹くもののレースを厳しくするには至らず、比較的良いコンディション下でのスタートとなった。

レースは序盤から登り坂区間で展開が繰り返され、鈴木讓(宇都宮ブリツェン)、中根英登(愛三工業)の2名が飛び出しに成功。しかしライバルチームを消耗させるだけの効果は無く、集団はブリヂストンアンカーを中心に、一定ペースでコントロールされ単調に進む。

後半になると先頭から中根が脱落、単独になった鈴木もペースがやや落ちはじめ、集団に吸収される。終盤には登り区間でのペースアップが激しくなり、最終回の登り区間を終えると先頭は、各チームのエース格が揃う10名前後に絞られ、そこから更に初山、西園(共にブリヂストンアンカー)、木村圭佑(シマノ)の3名が飛び出し、最後の勝負を迎える。

ゴールでは2名のブリヂストン勢が優位に展開し、初山、西園、木村の順でゴールし、この3名が2016年の全日本選手権ロードエリートクラスの表彰台に上がった。国内では5月末よりツアー・オブ・ジャパン、ツール・ド・熊野の2つのUCIステージレースが行われ今回の全日本に至った中、各チーム理想的な準備と作戦の元、冷静で無駄な動きの少ないチームワークで展開された、国内選手権らしいレースであった。(浅田 顕)

男子 U23 ロードレース

出走132名 8周 95.2km

雨の中レースはスタート。大島のコースは、登りの途中も道が狭くなる区間、テクニカルな下り、強風の吹く海岸線のサンセットパームラインなど、様々な要素を含む。当初10周、119kmによって行われる予定だったが、悪天候のため距離が短縮された。

1周目から、有力選手による攻撃で集団が分断。その後、鹿屋体育大学が中心となりペースを上げたことで、1周目から約40名の集団が先行した。

3周目にはそこから17名が抜け出し、さらに6周目に入る手前で小林海(KUOTA)がアタック。徳田優(鹿屋

体育大)、小橋勇利(シマノ)、松本祐典、野本空(明治大)の5名に絞られた。

小林を中心にレースが展開され、7周目の登りで小林がアタックするも吸収される。小林は最終週の登りで再度アタック。後続の徳田、松本に約1分の差をつけて最後まで逃げ切った。小林は力もさることながら、常に主導権を握みながらのレースは、他選手との経験の違いも感じた。現在スペインを中心に活動しているが、今後の活躍も注目したい。(橋川 健)

女子エリート ロードレース

9周107.1 kmで争われた。海岸沿いのアップダウン部分と、登りが勝負所となると予想される。この日、海岸沿いは17km/hしか出ていない集団に、付いていくのがやっとだったと言う選手がいるほどの強い向い風。一方登り部分は追風となり、厄介なコースとなっていた。

1周目から萩原が抜出そうとアタック。これには古山が合わせる。古山は萩原が集団に戻ったにもかかわらず、そのまま集団を引き離してホームを先頭通過。2周目は中井が先頭と、学生勢が積極的。これまでの女子のレースではなかった動きで、次々と力尽きた選手が遅れてDNFとなって行く。昨年3位の金子も落車で遅れ、復帰かなわずDNF。

6周目には萩原、與那嶺、梶原、牧瀬、合田、櫻木、坂口、少し遅れて上野、吉川、針谷の10人しかコー



小林が引く男子U23のトップグループ



海岸線に行く女子エリートの集団

スにいなくなる。残り2周後の登りで與那嶺がアタック、これを萩原が追う。一時バラけるが、與那嶺、萩原、牧瀬、梶原の4名と合田、坂口2名、堅木の構図。上野、吉川、針谷がDNFとなる。

最終周、先頭は萩原と與那嶺の争い。萩原がアタックするが、與那嶺を離すことはできない。最終盤、與那嶺が満を持した感でスパートすると、序盤からアタックを繰り返して足を使ってしまった萩原が追いつくことは無く、與那嶺が手を挙げてゴールした。完走者7名という厳しいレースであった。(三宅 秀一郎)

【競技結果】

第85回全日本自転車競技選手権大会
ロードレース(2016/6/25-26 東京・大島)

Men Elite (154.7km)

- 1 初山 翔 神奈川 BSアンカー 4:14:57
- 2 西菌 良太 鹿児島 BSアンカー 4:14:57
- 3 木村 圭佑 滋賀 シノ 4:14:59



- 4 石橋 学 青森 NIPPO 4:15:39
- 5 増田 成幸 栃木 ブリッウェン 4:15:40
- 6 鈴木 龍 宮城 BSアンカー 4:15:40

Women Elite (107.1km)

- 1 與那嶺恵理 茨城 HagensBerman 3:33:01
- 2 萩原麻由子 福井 WiggleHigh 3:33:06
- 3 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 3:33:56



- 4 牧瀬 翼 和歌山 AsahiMuur 3:33:58
- 5 坂口 聖香 兵庫 パナソニックL. 3:38:04
- 6 櫻木 祥子 東京 ニールアライト 3:40:15

Men U23 (95.2km)

- 1 小林 海 東京 KUOTA 2:38:58
- 2 徳田 優 京都 鹿屋体育大 2:40:01
- 3 松本 祐典 京都 明治大学 2:40:03



- 4 小橋 勇利 愛媛 シノレーシング 2:42:00
- 5 小野寺 玲 栃木 ブリッウェン 2:42:04
- 6 岡本 隼 和歌山 日本大学 2:42:15

Time Trial

男子U17・U15 タイムトライアル

体格の成長とスキルの観点から、この年代では過度に記録を期待する必要はない。しかし1位の日野、2位の小笠原は15分台と、ジュニアカテゴリーでも3位以内となる好タイム。7位の選手まで16分台と、次の世代での可能性を感じた。

男子ジュニア タイムトライアル

1月のアジア選手権3位だった渡辺は、距離が短いにも拘らずスピードが伸びず2位。1位は大町だが、U17で1位の日野を15秒しか上回ることができず、他の選手含め全体としてこの年代のスピード強化が必要と認識させられた。

女子ジュニア タイムトライアル

アジア選手権ロードタイムトライアルに出場して5位となった細谷は欠場。アジア選手権ロードで優勝した下山が順当に1位となった。U17は小林あかり。

女子エリート タイムトライアル

萩原、與那嶺に加え、昨年ジュニアでは無敵だった梶原に注目が集まる。この大会に合わせて、調整が上手くできた與那嶺が優勝。一方、萩原は調子が悪いようで、1月に寒く強風下で行われたアジア選手権の自身のタイムに及ばず3位。梶原は、ほぼ実力を出せたと思われる2位となった。

(三宅 秀一郎)



女子エリート優勝の與那嶺



男子エリート優勝の西園

男子 U23 タイムトライアル

午前から若い世代のカテゴリーを中心に競技がスタート。U23の選手達は、まだ強風が吹く大島のサンセットパークラインを1往復する11.2km、出走24名で競われた。

11番目にスタートした小野寺玲(ブリッツェン)が、平均時速46.24km/h、14分31秒84で暫定トップのタイムを出す。そのタイムは、20番目にスタートした昨年の世界選手権U23タイムトライアル代表の、岡篤志(弱虫ペダル)に4秒塗り替えられた。

23番目にスタートした小林海(KUOTA)は、昨年のこの大会で3位。岡を6秒更新してトップタイムとなる。昨年2位に入賞し、最後に出走した山本大喜(鹿屋体)はスピードを乗せる事が出来ずに、小林から51秒遅れでフィニッシュ。これで小林の優勝が決まった。

距離が短いものの平均時速46km/hに3名が入ったのは良かったが、日本チャンピオンを決める大会であれば、もっと長い距離での戦いを見てみたいと思った。(橋川 健)

男子エリート タイムトライアル

11.2kmを3周する33.6kmで争われた男子エリートの個人タイムトライアルは、1周目からトップのラップタイムを出した西園良太(アンカー)が、コンスタントな走りでハイペースを維持し2位の佐野淳哉(マトリックス)、3位の増田成幸(ブリッツェン)を押さえ平均46.93km/hの高いアベレージスピードで快勝した。同タイトル2回目の獲得の西園だが、今回の走りにはこれまで以上の意気込みと、努力の成果を見ることが出来た。(浅田 顕)



男子U23優勝の小林

パラサイクリング

メインレースとなるMC1-5クラスは藤田征樹(チェプロ)が接戦を制し、1月に同所で開催されたアジア選手権に続いての優勝を飾った。

今大会の参加選手は個人7名とタンデム1組2名の計9名で、昨年の16名に比べると7名の減となった。離島での開催ということで、今回はやや地理的に不利な面があったことは否めないであろう。ハンデを背負いながらも参加した選手には、深く敬意を表したい。そしてここ大島でパフォーマンスを繰り広げて注目を集めたことは、この競技の発展に大いなる意義があったことは疑いようがない。(村田 隆宣)



MB優勝の鹿沼・田中

【競技結果】

第20回全日本選手権個人タイムトライアル・ロードレース(2016/6/24 東京・大島)

Men Elite (33.6km)

- 1 西園 良太 鹿児島 BSアンカー 42:57.29
- 2 佐野 淳哉 静岡 マトリックス 43:23.29
- 3 増田 成幸 栃木 ブリッツェン 43:48.90
- 4 鈴木 譲 栃木 ブリッツェン 43:55.67
- 5 阿部 嵩之 栃木 ブリッツェン 44:23.28
- 6 椿 大志 東京 BSアンカー 45:01.19

Women Elite (22.4km)

- 1 與那嶺恵理 茨城 HagensBerman 31:47.10
- 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大学 32:24.80
- 3 萩原麻由子 福井 WiggleHigh 32:48.55
- 4 上野みなみ 鹿児島 CielBleuK 33:04.95
- 5 坂口 聖香 兵庫 パナソニックL 33:08.34
- 6 牧瀬 翼 和歌山 AsahiMuur 33:58.11

Men U23 (11.2km)

- 1 小林 海 東京 KUOTA 14:21.51
- 2 岡 篤志 茨城 弱虫ペダル 14:27.05
- 3 小野寺 玲 栃木 ブリッツェン 14:31.84
- 4 池邊 聖 神奈川 慶應義塾大 14:46.75
- 5 眞砂 英作 香川 明治大学 14:47.09
- 6 岡本 隼 和歌山 日本大学 14:48.48

Men Junior (11.2km)

- 1 大町 健斗 広島 安芸府中高 15:21.12
- 2 渡邊 歩 福島 EQADS 15:45.94
- 3 山本 真寛 青森 八工大一高 15:59.25
- 4 東 亮介 東京 八王子桑志 16:01.84
- 5 小野 寛斗 神奈川 横浜高校 16:23.59
- 6 江越海玖也 神奈川 横浜高校 16:26.88

Women Junior (11.2km)

- 1 下山美寿々 大阪 天王寺高校 17:23.68
- 2 田上萌々子 埼玉 坂戸高校 19:01.99

Men U17+U15 (11.2km)

- 1 日野 泰静 愛媛 松山城南高 15:36.34
- 2 小笠原匠海 東京 八王子桑志 15:57.63
- 3 小野寺 慶 栃木 真岡工業高 16:00.36
- 4 福田 圭晃 神奈川 横浜高校 16:09.58
- 5 塩崎 隼秀 愛媛 松山城南高 16:11.77
- 6 京岡 優馬 東京 昭和第一高 16:25.69

Women U17 (11.2km)

- 1 小林あかり 長野 CherryJapan 19:18.84

Para-Cycling

【競技結果】

2016パラサイクリング選手権・ロード大会(2016/6/24 東京・大島)

MC1-5 (11.2km) ※ Factored Time

- 1 藤田 征樹 チェプロ MC3 14:02.37
- 2 佐藤 圭一 イーメアランド MC5 15:08.55
- 3 川本 翔大 ヤマトリス MC2 16:46.43

MH4 (11.2km)

- 1 奥村 直彦 風輪堂 19:34.26
- 2 島田 一彦 JPCF 21:52.94
- 3 末吉 政巳 Terry's Wonder 22:05.48

MT2 (11.2km)

- 1 小川 睦彦 JPCF 23:07.57

WB (11.2km)

- 1 鹿沼由理恵・田中まい JPCA 15:17.88



**PRINCE
 TOMOHITO
 MEMORIAL
 WORLD GRAND PRIX
 JAPAN TRACK CUP I & II**

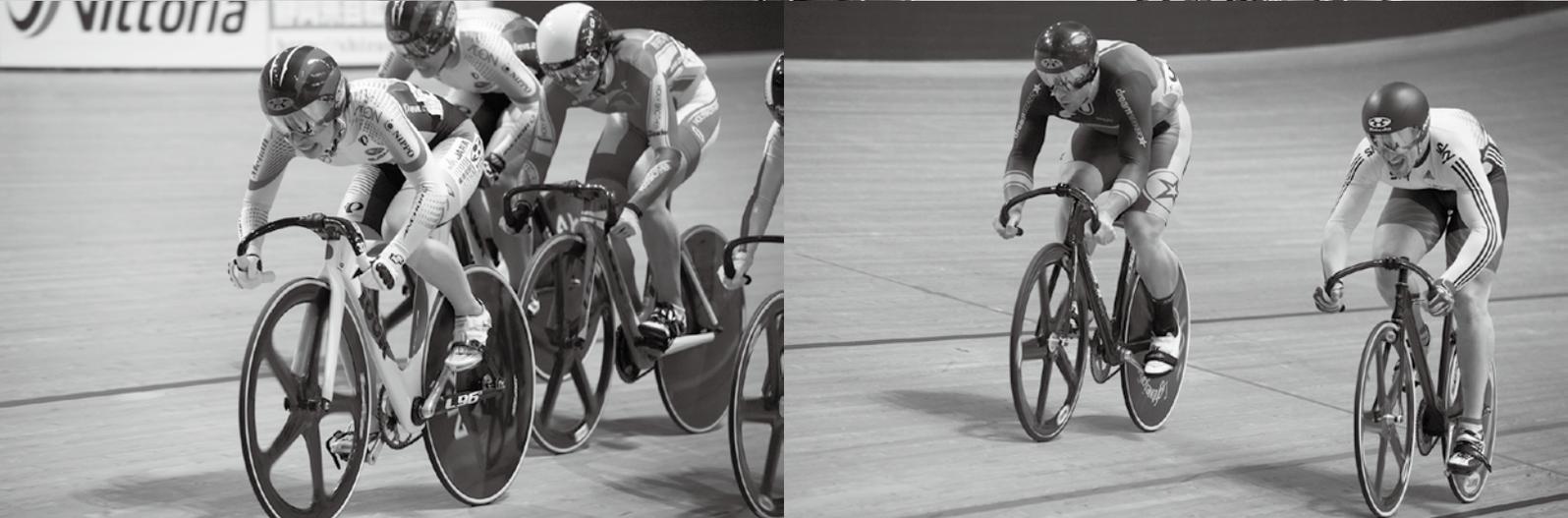
7月7日～10日、伊豆ベロドロームで、ジャバントラックカップI & IIが開催された。
 ジャバントラックカップは2014年1月の初開催から4回目の開催で、今回は「第3回寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会」として開催された。
 大会最終日には彬子女王殿下がご臨席され、リオ五輪選手達の白熱したレースを観戦された。

JTC2 男子エリートケイリン



JTC2 男子エリートオムニアム

JTC1 男子エリートポイントレース



JTC1 女子エリートケイリン

JTC2 男子エリートスプリント



JTC2 女子エリートオムニウム



JTC2 男子ジュニアケイリン

2016 ジャパントラックカップ I & II 日本代表選手団

大会名 2016 ジャパントラックカップ I & II

開催日程 2016年7月8日～10日

開催場所 静岡県伊豆市 伊豆ベロドローム

代表選手団

監督 坂本 勉 (短距離ヘッドコーチ)
 コーチ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 小田島梨絵 (強化コーチ)
 宮本 文晴 (強化コーチ)
 折本 裕樹 (ジュニア強化育成部会長)
 山本 宏恒 (ジュニア強化育成部会員)
 塩原 正長 (ジュニア強化育成部会支援スタッフ)

メカニック 森 昭雄 (強化支援スタッフ)

齋藤 健吾 (強化支援スタッフ)

マッサー 中山 真臣 (強化支援スタッフ)

奥隅 信幸 (強化支援スタッフ)

スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)

ドクター 内田 彰子 (強化支援スタッフ)

エリート 中川誠一郎 (JPCA・JPCU 熊本)

渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)

脇本 雄太 (JPCA・JPCU 福井)

河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)

窪木 一茂 (和歌山・NIPPO VINI FANTINI)

橋本 英也 (岐阜・NIPPO Racing Team)

前田佳代乃 (京都)

石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)

塚越さくら (鹿児島・CIEL BLEU KANOYA)

梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)

ジュニア 甲斐 俊祐 (大分・別府商業高校)

荒川 仁 (千葉・千葉経済大学附属高校)

小原丈一郎 (青森・青森山田高校)

伊藤 歩登 (兵庫・神戸弘陵学園高校)

石井 菜摘 (栃木・作新学院高校)

野寺 楓 (静岡・伊豆総合高校)

菅原 朱音 (鳥取・倉吉総合産業高校)

【競技結果】

2016 ジャパントラックカップ I

(2016/7/8 静岡・伊豆ベロドローム)

Men Elite Sprint

- 1 OLIVA Lewis GBR
- 2 MUHAMMADSHAH Firdaus Sahrorn MAS
- 3 河端 朋之 JPN

Men Elite Keirin

- 1 VAN VELTHOOVEN Simon NZL
- 2 PERKINS Shane DRS
- 3 新田 祐大 DRS

Men Elite Points Race

- 1 橋本 英也 JPN 63p
- 2 近谷 涼 MTRP 57p
- 3 渡邊 翔太郎 ASAU 51p

Women Elite Sprint

- 1 ZHANG Linyin TJCT
- 2 HAN Jun HBT
- 3 LIU Lili HBT

Women Elite Keirin

- 1 石井 貴子 JPN
- 2 HAN Jun HBT
- 3 前田 佳代乃 JPN

Women Elite Points Race

- 1 上野 みなみ CBK 27p
- 2 塚越 さくら JPN 15p
- 3 鈴木 奈央 SHCF 15p

Men Junior Keirin

- 1 甲斐 俊祐 JPN

2 CHOI Kwan Lok HKG

3 PAEKRAKOT Warut THA

Men Junior Scratch Race

- 1 CHOI Kwan Lok HKG
- 2 小原 丈一郎 JPN
- 3 LOHMOH Nimuhamsulhairee THA

Women Junior Keirin

- 1 石井 菜摘 JPN
- 2 野寺 楓 JPN
- 3 LEUNG Hoi Wah HKG

Women Junior Points Race

- 1 菅原 朱音 JPN 15p
- 2 MA Yin Yu HKG 13p
- 3 石井 菜摘 JPN 12p

2016 ジャパントラックカップ II

(2016/7/9-10 静岡・伊豆ベロドローム)

Men Elite Sprint

- 1 PERKINS Shane DRS
- 2 OLIVA Lewis GBR
- 3 VAN VELTHOOVEN Simon NZL

Men Elite Keirin

- 1 渡邊 一成 JPN
- 2 河端 朋之 JPN
- 3 KANG Shih-Feng TCT

Men Elite Omnium

- 1 窪木 一茂 JPN 199p
- 2 倉林 巧和 NSSU189p
- 3 近谷 涼 MTRP186p

Women Elite Sprint

- 1 ZHUANG Wei TJCT
- 2 ZHANG Linyin TJCT
- 3 LIU Lili HBT

Women Elite Keirin

- 1 HAN Jun HBT
- 2 FARINA SHAWATI Mohd Adnan MAS
- 3 ZHUANG Wei TJCT

Women Elite Omnium

- 1 梶原 悠未 JPN 206p
- 2 鈴木 奈央 SHCF194p
- 3 塚越さくら JPN 193p

Men Junior Keirin

- 1 小原 丈一郎 JPN
- 2 伊藤 歩登 JPN
- 3 CHOI Kwan Lok HKG

Men Junior Points Race

- 1 CHOI Kwan Lok HKG 23p
- 2 PAEKRAKOT Warut THA 15p
- 3 LOHMOH Nimuhamsulhairee THA 8p

Women Junior Keirin

- 1 石井 菜摘 JPN
- 2 野寺 楓 JPN
- 3 LEUNG Hoi Wah HKG

Women Junior Scratch

- 1 菅原 朱音 JPN
- 2 野寺 楓 JPN
- 3 MA Yin Yu HKG

第31回オリンピック競技大会 / 第15回パラリンピック競技大会 (2016/ リオデジャネイロ) 自転車競技 日本代表選手

トラックレース



中川 誠一郎
JPCA・JPCU 熊本
1979 年生まれ



渡邊 一成
JPCA・JPCU 福島
1983 年生まれ



脇本 雄太
JPCA・JPCU 福井
1989 年生まれ



窪木 一茂
和歌山・NIPPO・ヴィーニファンティーニ
1989 年生まれ



塚越 さくら
鹿児島・CIEL BLEU KANOYA
1991 年生まれ

ロードレース



新城 幸也
JPCA・ランプレ・メリダ
1984 年生まれ



内間 康平
沖縄・プリヂストンアンカー サイクリングチーム
1988 年生まれ



與那嶺 恵理
茨城・Hagens Berman Supermint
1991 年生まれ

MTB



山本 幸平
北海道・Trek Factory Racing MTB XC Team
1985 年生まれ

BMX



長迫 吉拓
岡山・モトクロスインターナショナル
1993 年生まれ

パラサイクリング



川本 翔大 (MC2)
広島・大和産業
1996 年生まれ



藤田 征樹 (MC3)
茨城・日立建機
1985 年生まれ



石井 雅史 (MC4)
東京・藤沢市みらい創造財団
1972 年生まれ



鹿沼 由理恵 (WB)
東京・楽天ソシオビジネス
1981 年生まれ



田中 まい (WB パイロット)
JPCA・JPCU 千葉
1989 年生まれ

2016 マウンテンバイク世界選手権 日本代表選手団

大会名 2016 マウンテンバイク世界選手権
 開催日程 2016年6月30日～7月3日
 派遣日程 2016年6月27日～7月5日
 開催場所 チェコ・Nove Mesto Na Morave
 代表選手団

監督 鈴木 雷太 (JCF 強化支援スタッフ MTB コーチ)
 メカニック 小林 輝紀 (JCF 強化支援スタッフ)
 白井 三善 (JCF 強化支援スタッフ)
 マッサー 軽部 修子 (JCF 強化支援スタッフ)
 西川 晶子 (JCF 強化支援スタッフ)

選手

エリート男子
 山本 幸平 (北海道・TREK Factory Racing)
 平野 星矢 (長野・BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM)
 中原 義貴 (大阪・BH SR SUNTOUR)

エリート女子
 末政 実緒 (兵庫・SRAM/LITEC/PRIVATE PARK)

男子 U23
 平林 安里 (長野・SPECIALIZED RACING JAPAN)
 前田 公平 (東京・BIORACER/Thompson)
 沢田 時 (滋賀・BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM)

男子ジュニア
 北林 力 (長野・白馬高等学校 ProRide)
 江越 昇也 (神奈川・大橋高等学校 ProRide)
 上野 蓮 (福岡・日本経済大学)

2016 UCI ジュニアトラック世界選手権大会
日本代表選手団

大会名 2016 UCI ジュニアトラック世界選手権大会
 開催日程 2016年7月20日～24日
 派遣日程 2016年7月15日～26日
 開催場所 スイス・ワールドサイクリングセンター (WCC)
 代表選手団

監督 折本 裕樹 (JCF ジュニア強化育成部会長)
 コーチ 相原 好宏 (JCF ジュニア強化育成部会支援スタッフ)
 宮本 文晴 (JCF 強化コーチ・ジュニア強化育成部会支援スタッフ)

メカニック 斉藤 健吾 (JCF 強化支援スタッフ)
 スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)

選手 沢田桂太郎 (宮城・日本大学)
 今村 駿介 (福岡・中央大学)
 曾我部厚誠 (大阪・京都産業大学)
 田川 翔琉 (熊本・明治大学)
 中島 詩音 (山梨・日本大学)
 脇本 勇希 (福井・科学技術高校)
 治田 知也 (新潟・吉田高校)
 東矢 圭吾 (熊本・千原台高校)
 細谷 夢菜 (埼玉・浦和工業高校)
 松井 優佳 (鹿児島・南大隅高校)
 中村 愛花 (福井・科学技術高校)
 松本 詩乃 (東京・昭和第一学園高校)
 小林 彩乃 (群馬・日本競輪学校)

連盟の動き (5月中旬～7月中旬)

- | | |
|--|----------------------------|
| 5月 9日 2016 Tour of Zhoushan Island 派遣選手団出発 | 於：中国・舟山島 帰国→6/7 |
| 14日 ロード U23 ネイションズカップ派遣選手団出発 | 於：フランス、チェコ 帰国→6/7 |
| 18日 平成 28 年度 第 1 回広報部会 | 於：東京・白金台いきいきプラザ 講習会室 |
| ロードジュニアネイションズカップ派遣選手団出発 | 於：フランス、スイス 帰国→5/31 |
| トラックオリンピック強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～20日) |
| 23日 2016年 BMX 世界選派遣選手団出発 | 於：コロンビア・メデリン 帰国→6/1 |
| 25日 トラックオリンピック中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～31日) |
| 27日 トラックオリンピック短距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～31日) |
| 30日 平成 28 年度 第 1 回総務委員会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 31日 2016 台湾トラックカップ | 於：チャイニーズタイペイ・新竹市 帰国→6/5 |
| 6月 1日 平成 28 年度 第 2 回選手強化本部会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 平成 28 年度 第 1 回常務理事会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 3日 平成 28 年度 第 2 回理事会 | 於：東京・自転車総合ビル 601 会議室 |
| 5日 トラック短・中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (短～9日、中～10日) |
| 8日 2016BMX アジア選手権派遣選手団出発 | 於：中国・太原 帰国→6/13 |
| 14日 トラックオリンピック中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～17日) |
| 15日 ロードジュニアネイションズカップ派遣選手団出発 | 於：ドイツ 帰国→6/21 |
| 18日 2016ITS メルボルン遠征派遣選手団出発 | 於：オーストラリア 帰国→6/28 |
| 19日 トラックオリンピック短距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～23日) |
| 20日 平成 28 年度 第 1 回定時評議員会 | 於：東京・自転車総合ビル 601 会議室 |
| 平成 28 年度 第 3 回選手強化本部会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 23日 リオ・テストイベントトラック遠征派遣選手団出発 | 於：ブラジル 帰国→6/29 |
| 24日 平成 28 年度 第 2 回競技運営委員会 | 於：東京・大島温泉ホテル 会議室 |
| 25日 平成 28 年度 第 1 回ロード競技部会 | 於：東京・大島温泉ホテル 会議室 |
| 26日 トラックオリンピック短距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～30日) |
| 27日 マウンテンバイク世界選派遣選手団出発 | 於：チェコ 帰国→7/5 |
| 28日 平成 28 年度 第 3 回選手強化委員会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 29日 平成 28 年度 第 4 回選手強化本部会 | 於：東京・自転車総合ビル 602 会議室 |
| 7月 7日 トラック短距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～10日) |
| トラック中距離強化合宿 | 於：静岡・伊豆ペロドローム (～13日) |
| 15日 ジュニアトラック世界選派遣選手団出発 | 於：スイス 帰国→7/26 |
| ロードジュニアネイションズカップ派遣選手団出発 | 於：カナダ 帰国→7/27 |

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

UCI BMX 世界選手権大会

(2016/5/25-29 ジョージア・アトランタ)

男子リト

- 1 Joris DAUDET FRA
- 2 Niek KIMMANN NED
- 3 Nicholas LONG USA
- 36 長迫 吉拓 岡山 トクロスインターナショナル
- 57 吉村樹希敢 大阪 クレジットレーシング
- 72 松下 翼 神奈川 早稲田大学院

女子リト

- 1 Mariana PAJON COL
- 2 Caroline BUCHANAN AUS
- 3 Alise POST USA
- 34 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE

男子ジュニア

- 1 Maynard PEEL NZL
- 2 Mathis RAGOT RICHARD FRA
- 3 Cedric BUTTI SUI
- 19 池上 泰地 大阪 KUWAHARA BIKE

女子ジュニア

- 1 Ruby HUISMAN NED
- 2 Natalia AFREMOVARUS
- 3 Silje FISKEBEKK NOR
- 4 畠山 紗英 神奈川 白鵬女子高等学校

Coupe du Japon 富士見パノラマ DH1, XCO (2016/5/27-29 長野・富士見)

DH1 男子リト

- 1 加藤 将来 愛知 AKI Fact. 2:31.146
- 2 九島 勇気 神奈川 玄武 2:33.329
- 3 井本はじめ 兵庫 SRAM 2:33.357

DH1 女子リト

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 2:57.754
- 2 中川 弘佳 大阪 Lovespo 3:07.387
- 3 吉川千香子 愛知 DKMC 3:12.148

DH1 男子マスターズ

- 1 吉川 邦岳 愛知 DKMC 2:45.712
- 2 栗野宏一郎 岐阜 KYB 2:48.063
- 3 竹内 豪 兵庫 662 2:51.116

DH1 男子U-18

- 1 五十嵐瑞樹 長野 STORM 2:45.189
- 2 山田 淳一 愛知 Try-J 2:50.476
- 3 井岡 計太 愛知 HottSpin 2:52.517

XCO 男子リト

- 1 中原 義貴 大阪 BH SR 1:21:43.50
- 2 恩田 祐一 新潟 BH SR 1:22:05.89
- 3 平野 星矢 長野 Anchor 1:22:54.52

XCO 女子リト

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:07:17.64
- 2 武田 和佳 埼玉 Liv 1:08:47.58
- 3 小林可奈子 長野 安曇野 1:09:13.21

XCO 男子ジュニア

- 1 穴田 玖舟 北海道 BG8 58:00.55
- 2 小林 勇輝 長野 伊ノ木信濃 58:36.26
- 3 江越 昇也 神奈川 ProRide 59:17.95

XCO 女子ジュニア

- 1 佐藤 寿美 神奈川 MIYATA 35:33.45
- 2 石田 恵 京都 リテッド846 42:52.25

XCO 男子マスターズ

- 1 品川 真寛 神奈川 YOUCAN 58:29.64
- 2 竹谷 賢二 埼玉 Specialized 58:57.42
- 3 余語 賢司 愛知 Rueda 1:01:39.10

XCO 女子マスターズ

- 1 辻 瑞穂 神奈川 HeartView 41:47.37
- 2 北島 優子 長野 パワースポーツ 48:10.11

XCO 男子U-18

- 1 神永 真一 大阪 ProRide 43:10.50
- 2 山口 創平 滋賀 ProRide 44:23.26
- 3 石川 紘 愛知 SASSA'S 46:31.02

XCO 女子U-18

- 1 川口うらら 兵庫 Sonic-R. 17:45.62
- 2 中島 悠里 山梨 maillot 19:36.90

第55回全日本学生選手権ロードタイムトライアル (2016/5/28 埼玉・加須/羽生)

- 1 鹿体大 徳田_正・山本_正・富尾_正・松本_正・徳田_正・安川 1:18:25.77
- 2 京産大 安田_正・樋口_正・中井_正・松下 1:19:43.43
- 3 日体大 小林_正・山下_正・安田_正・古賀_正・中村_正・湯浅 1:20:09.04
- 4 朝日大 有山_正・渡邊_正・相馬_正・浦田_正・中村_正・佐々木 1:20:39.49
- 5 順天大 伊藤_正・重田_正・海老本_正・原_正・嶋崎_正・石原 1:20:43.96
- 6 明治大 小林_正・眞砂_正・松本_正・野本_正・池西_正・田川 1:21:03.80

第28回全日本学生個人ロードタイムトライアル (2016/5/29 埼玉・加須/羽生)

男子個人タイムトライアル (30.8km)

- 1 池邊 聖 神奈川 慶應義塾 40:42.347
- 2 山本 大喜 奈良 鹿屋体大 40:44.362
- 3 渡邊翔太郎 岐阜 朝日大学 40:57.873
- 4 樋口 峻明 神奈川 京都産大 41:23.034
- 5 眞砂 英作 香川 明治大学 41:23.405
- 6 徳田 優 京都 鹿屋体大 41:28.192

女子個人タイムトライアル (25.2km)

- 1 古山 稀絵 東京 日本体大 38:13.533
- 2 齋藤 望 宮城 日本体大 39:15.173
- 3 江藤里佳子 大分 鹿屋体大 39:25.891

第32回全日本学生選手権個人ロードレース (2016/6/11-12 長野・奥木曾湖)

男子 (181km)

- 1 徳田 優 鹿屋体育大学 4:32:05
- 2 安田 京介 京都産業大学 4:32:53
- 3 松本 祐典 明治大学 4:33:05
- 4 野本 空 明治大学 4:33:20
- 5 中西 健児 同志社大学 4:35:32
- 6 小林 和希 明治大学 4:35:32

女子 (100km)

- 1 梶原 悠未 筑波大学 2:57:09
- 2 合田祐美子 BH ASTIFO 2:57:24
- 3 櫻木 祥子 NEILPRYDE 2:57:27

ツール・ド・熊野

(2016/6/16-19 和歌山・新宮市他)

個人総合順位

- 1 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 7:58:13
- 2 PRADES Benjami UKO 7:58:44
- 3 LEBAS Thomas BGT 7:58:48
- 4 TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente MTR 7:58:56

- 5 伊藤 雅和 AIS 7:58:57
- 6 CRAWFORD Jai KIN 7:58:57

団体総合順位

- 1 KINAN Cycling Team 23:58:13
- 2 TEAM UKYO 24:00:04
- 3 BRIDGESTONE ANCHOR 24:01:06

ポイント賞

- 1 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 42p
- 2 KERRISON Jesse SOM 35p
- 3 大久保 陣 BLZ 34p

山岳賞

- 1 SULZBERGER Wesley KIN 18p
- 2 平塚 吉光 AIS 12p
- 3 内間 康平 BGT 8p

Prologue (0.7km)

- 1 阿部 嵩之 BLZ 51.00
- 2 大久保 陣 BLZ 51.14
- 3 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 51.17
- 4 福田 真平 AIS 51.90
- 5 VAN DER PLOEG Paul SOM 52.73
- 6 吉田 隼人 MTR 52.91

1st Stage (114.1km)

- 1 KERRISON Jesse SOM 2:36:59
- 2 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 2:36:59
- 3 鈴木 龍 BGT 2:36:59
- 4 福田 真平 AIS 2:36:59
- 5 VAN DER PLOEG Paul SOM 2:36:59
- 6 雨乞 竜己 CRV 2:36:59

2nd Stage (109.3km)

- 1 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 2:47:38
- 2 GARCIA Marcos KIN 2:47:40
- 3 PRADES Benjami UKO 2:48:05
- 4 CRAWFORD Jai KIN 2:48:05
- 5 GARCIA Ricardo KIN 2:48:05
- 6 LEBAS Thomas BGT 2:48:05

3rd Stage (100.0km)

- 1 大久保 陣 BLZ 2:32:29
- 2 FERNANDEZ CASASOLA Airan MTR 2:32:29
- 3 木村 圭佑 SMN 2:32:31
- 4 ABERASTURI IZAGA Jon UKO 2:32:48
- 5 LEBAS Thomas BGT 2:32:48
- 6 内間 康平 BGT 2:32:48

UCI 世界選手権大会 - MTB XCO

(2016/6/29-7/3 フロイト・カームニストゲイ)

XCO Men Elite (27.4km)

- 1 SCHURTER Nino SUI 1:28:20
- 2 KULHAVY Jaroslav CZE 1:28:37
- 3 ABSALON Julien FRA 1:28:50
- 41 山本 幸平 北海道 TREK 1:35:42
- 86 平野 星矢 長野 ANCHOR -2laps
- 88 中原 義貴 大阪 BH SR -2laps

XCO Women Elite (23.3km)

- 1 LANGVAD Annika DEN 1:30:13
- 2 DAVISON Lea USA 1:31:25
- 3 BATTY Emily CAN 1:31:57
- 53 末政 実緒 兵庫 SRAM/LITEC -2laps

XCO Men U23 (23.3km)

- 1 GAZE Samuel NZL 1:17:57
- 2 KORETZKY Victor FRA 1:18:47
- 3 GUERRINI Marcel SUI 1:19:01
- 73 平林 安里 長野 Specialized -1lap

75	前田 公平	東京 BIORACER	-1lap
	沢田 時	滋賀 ANCHOR	DNS
XCO Men Junior (19.2km)			
1	BONNET Thomas	FRA	1:08:32
2	ALBIN Vital	SUI	1:09:08
3	HALLAND JOHANNESSEN Tobias	NOR	1:09:32
66	上野 蓮	福岡 日本経済大	1:20:08
83	江越 昇也	神奈川 大楠高等学校	-1lap
	北林 力	長野 白馬高等学校	DNF
XC Team Relay			
1	France		59:49
2	Czech Republic		1:00:05
3	Switzerland		1:00:26
16	日本 山本・末政・江越・平林		1:06:54

**全日本学生選手権トラック競技大会
(2016/7/2-3 長野・松本市美鈴湖)**

男子スプリント

1	沢田桂太郎	日本大学
2	野上 竜太	鹿屋体育大学
3	坂井 洋	日本大学

男子 1km タイムトライアル

1	橋本 壮史	中央大学	1:03.195
2	小原 佑太	朝日大学	1:03.723
3	鈴木 陸来	法政大学	1:04.015

男子ケリ

1	森本 尊也	明治大学
2	深沢 拓	日本体育大学
3	黒枝 咲哉	鹿屋体育大学

男子 4km 個人ハーフ-シュート

1	鈴木 康平	法政大学	4:44.563
2	眞砂 英作	明治大学	4:54.828
3	渡邊翔太郎	朝日大学	4:36.241

男子スクラッチ

1	青野 将大	法政大学
2	酒井 翔	明治大学
3	佐々木真吾	朝日大学

男子ポイントレース

1	岡本 隼	日本大学	54p
2	荒井 佑太	法政大学	45p
3	松本 憲斗	鹿屋体育大学	44p

男子タフタイムスプリント

1	相馬義宗・小原佑太	朝日大学
2	緑川裕也・照井拓成	日本大学
3	飯塚竜也・南進大郎	順天堂大学

男子マフイン

1	安田京介・樋口峻明	京都産業大学	12p
2	佐々木真也・片桐善也	日本大学	7p
3	伊藤和輝・孫崎大樹	早稲田大学	7p

女子 500m タイムトライアル

1	梶原 悠未	筑波大学	37.132
2	齋藤 望	日本体育大学	37.863
3	平井 杏奈	順天堂大学	37.869

女子スプリント

1	西島 叶子	鹿屋体育大学
2	清水 知美	八戸学院大学
3	岡本 二菜	日本体育大学

女子 3km 個人ハーフ-シュート

1	梶原 悠未	筑波大学	3:48.278
2	橋本 優弥	鹿屋体育大学	3:52.169
3	中井 彩子	鹿屋体育大学	3:52.607

女子ポイントレース

1	梶原 悠未	筑波大学	68p
2	橋本 優弥	鹿屋体育大学	32p
3	古山 稀絵	日本体育大学	18p

ー平成 27 年度 地区プロ自転車競技大会ー

**北日本地区プロ選手権自転車競技大会
(2015/9/27-28 函館) 400 m**

スプリント

1	渡邊 一成	福島
2	佐藤 博紀	岩手
3	高木 翔	岩手

ケリ

1	伏見 俊昭	福島
2	小松崎大地	福島
3	大槻 寛徳	宮城

1km タイムトライアル

1	早坂 秀悟	宮城	1:02.968
2	新山 響平	青森	1:04.009
3	坂本 貴史	青森	1:05.057

4km 個人ハーフ-シュート

1	渡邊 正光	福島	4:58.72
2	佐藤 朋也	秋田	5:03.76
3	萩原 尚人	宮城	5:21.14

4km チームハーフ-シュート

1	青森 守澤・坂本貴・新山・坂本	宮城	4:33.61
2	福島 渡辺・佐藤・房州・須永	福島	4:39.33
3	宮城 竹山・菅田・和田・櫻井	宮城	4:47.49

リミネイション

1	坂本 周作	青森
2	房州 輝也	福島
3	守澤 太志	秋田

チームスプリント

1	宮城 早坂・阿部・三浦	宮城	1:17.30
2	福島 佐藤・小松崎・伏見	福島	1:17.47
3	北海道 大森・田原・飯山	北海道	1:25.55

**関東地区プロ選手権自転車競技大会
(2015/10/6 前橋) 335m**

スプリント

1	雨谷 一樹	栃木
2	鈴木謙太郎	茨城
3	志村 太賀	山梨

ケリ

1	木暮 安由	群馬
2	山田 義彦	埼玉
3	諸橋 愛	新潟

1km タイムトライアル

1	金子 幸央	栃木	1:05.799
2	隅田 洋介	栃木	1:06.992
3	矢口啓一郎	群馬	1:07.104

4km 個人ハーフ-シュート

1	星野 辰也	栃木	4:55.308
2	須賀 和彦	茨城	4:59.621
3	小沼 良	埼玉	5:02.472

4km チームハーフ-シュート

1	茨城 河野・山下・須賀・吉田	茨城	4:29.143
2	埼玉 白岩・井上・小沼・細沼	埼玉	4:33.483
3	群馬 三好・中島・手島・横田	群馬	4:36.641

リミネイション

1	小林 潤二	群馬
---	-------	----

2	菊池 崇訓	栃木
3	小林 大介	群馬

チームスプリント

1	栃木 小田倉・長島・金子	1:02.494
2	群馬 矢口・木暮・天田	1:03.116
3	茨城 吉澤・伊早坂・杉森	1:03.167

**南関東地区プロ選手権自転車競技大会
(2015/11/6 川崎) 400 m**

スプリント

1	根田 空史	千葉
2	渡邊 雄太	静岡
3	吉原 友彦	神奈川

ケリ

1	内藤 秀久	神奈川
2	片寄 雄己	静岡
3	松坂 英司	神奈川

1km タイムトライアル

1	加賀山 淳	千葉	1:05.593
2	萩原 孝之	静岡	1:07.353
3	河上 陽一	千葉	1:07.684

4km 個人ハーフ-シュート

1	堀内 俊介	神奈川	4:57.05
2	近藤 隆司	千葉	5:00.94
3	深澤 伸介	静岡	5:16.29

4km チームハーフ-シュート

1	神奈川 遠澤・柁原・川崎・小原	4:45.61
2	静岡 山崎・松江・飯尾・梁田	4:46.26
3	千葉 倉倉・花田・古川・大関	4:51.13

リミネイション

1	岡村 潤	静岡
2	武井 大介	千葉
3	勝瀬 卓也	神奈川

チームスプリント

1	神奈川 郡司・巴・和田	1:16.67
2	神奈川 川口・佐藤・松坂	1:20.45
3	千葉 伊勢崎・田中・藤田	1:16.53

**中部地区プロ選手権自転車競技大会
(2015/10/6 四日市) 400m**

スプリント

1	金子 貴志	愛知
2	板橋 慎治	岐阜
3	北野 武史	石川

ケリ

1	吉田 敏洋	愛知
2	山内 卓也	愛知
3	深谷 知広	愛知

1km タイムトライアル

1	竹内 雄作	岐阜	1:04.705
2	永井 清史	岐阜	1:05.140
3	山崎 晃	石川	1:07.309

4km 個人ハーフ-シュート

1	谷口 明正	三重	4:54.17
2	児玉 利文	岐阜	4:54.59
3	坂上 忠克	石川	4:55.31

4km チームハーフ-シュート

1	岐阜 児玉・吉田・山口・川西	4:30.75
2	三重 廣田・谷口・若松・神田	4:34.35
3	富山 谷本・竹田・竹澤・松田	4:39.48

リミネイション

1	舛井 幹雄	三重
---	-------	----

- 2 三浦 稔希 愛 知
 3 西村 光太 三 重
 チームスプリント
 1 三重 浅井・柴崎・伊藤 1:13.98
 2 岐阜 森川・竹内・松岡 1:14.86
 3 愛知 松山・深谷・高橋 1:15.74

近畿地区7⁰選手権自転車競技大会
 (2015/11/6 向日町) 400m

- スプリント
 1 小笹 隼人 京 都
 2 稲垣 裕之 京 都
 3 野原 雅也 福 井
 ケリッ
 1 村上 博幸 京 都
 2 三谷 将太 奈 良
 3 三谷 竜生 奈 良

- 1kmタイムトライアル
 1 石塚輪太郎 和歌山 1:06.338
 2 稲毛 健太 和歌山 1:07.146
 3 山本 伸一 京 都 1:07.284

- 4km個人パ⁰-シュート
 1 岡嶋 登 大 阪 4:53.80
 2 角 令央奈 兵 庫 4:57.33
 3 宮腰 圭祐 福 井 5:08.73

- 4kmチームパ⁰-シュート
 1 兵庫 井上・村田・角・木村 4:28.79
 2 京都 小谷・菱田・畑段・山田 4:34.80
 3 福井 脇本・渡辺⁺・渡辺^航・鷲田 4:35.56

- リミネイション
 1 神田 紘輔 大 阪
 2 畑段 嵐土 京 都
 3 山田 久徳 京 都

- チームスプリント
 1 兵 庫 松岡・藤井・筒井 1:16.16
 2 和歌山 中西・稲毛・石塚 1:16.69
 3 大 阪 大竹・岡崎・佐川 1:17.00

中国地区7⁰選手権自転車競技大会
 (2015/10/6 防府) 333m

- スプリント
 1 増原 正人 広 島
 2 内村 泰三 山 口

- 3 友永 龍介 山 口
 ケリッ
 1 友定 祐己 岡 山
 2 石丸 寛之 岡 山
 3 桑原 大志 山 口

- 1kmタイムトライアル
 1 山下 一輝 山 口 1:06.898
 2 吉本 哲郎 広 島 1:07.405
 3 片岡 迪之 岡 山 1:07.486

- 4km個人パ⁰-シュート
 1 大屋 健司 広 島 4:59.85
 2 多田 晃紀 岡 山 5:02.55
 3 川本 琢也 岡 山 5:15.07

- 4kmチームパ⁰-シュート
 1 岡山 三宅・藤原・新村・片山 4:40.81
 2 広島 吉本・西岡・大屋・三登 4:44.83
 3 山口 隅・沢田・阿部・内村 4:57.08

- リミネイション
 1 松浦 悠士 広 島
 2 柏野 智典 岡 山
 3 星島 太 岡 山

- チームスプリント
 1 岡山 筒井・黒田・工藤 1:04.06
 2 山口 隅・清水・山下 1:04.40
 3 広島 中屋・古川・細田 1:07.10

四国地区7⁰選手権自転車競技大会
 (2015/11/6 高松) 400m

- スプリント
 1 原 誠宏 香 川
 2 堤 洋 徳 島
 3 高原 仁志 徳 島

- ケリッ
 1 室井 健一 徳 島
 2 小倉 竜二 徳 島
 3 濱田 浩司 愛 媛

- 1kmタイムトライアル
 1 大西 祐 香 川 1:06.505
 2 原田研太郎 徳 島 1:07.861
 3 越智 展孝 愛 媛 1:08.792

- 4km個人パ⁰-シュート
 1 大久保直也 徳 島 5:10.94

- 2 伊藤 貴史 高 知 5:11.99
 3 湊 聖二 徳 島 5:15.01

4kmチームパ⁰-シュート

- 1 愛媛 鳥生・横内・芳野・渡部 4:38.08
 2 香川 眞鍋・蓮井・福島・近藤 4:38.83
 3 徳島 山形・松本・藤岡・伊藤 4:42.00

チームスプリント

- 1 香川 池田・福島・戸田 1:15.94
 2 高知 篠原・吉松・宗崎 1:16.80
 3 愛媛 小川・吉武・栗田 1:18.42

九州地区7⁰選手権自転車競技大会
 (2015/11/6 久留米) 400m

スプリント

- 1 荒井 崇博 佐 賀
 2 前田 義和 鹿 児 島
 3 魚屋 周成 大 分

ケリッ

- 1 山田 英明 佐 賀
 2 井上 昌己 長 崎
 3 松岡 貴久 熊 本

1kmタイムトライアル

- 1 野口 大誠 熊 本 1:06.940
 2 小川 賢人 福 岡 1:07.306
 3 下沖 功児 宮 崎 1:07.596

4km個人パ⁰-シュート

- 1 北津留 翼 福 岡 4:50.065
 2 大西 貴晃 大 分 5:08.722
 3 山崎 弘夢 沖 縄 5:15.023

4kmチームパ⁰-シュート

- 1 大分 加藤・小岩・安東・鈴木 4:30.289
 2 福岡 松尾・竹元・西田・松永 4:34.089
 3 佐賀 坂本・佐々木・好永・原 4:37.365

リミネイション

- 1 松尾信太郎 福 岡
 2 松川 高大 熊 本
 3 好永 晃 佐 賀

チームスプリント

- 1 福岡 坂本・北津留・小川 1:16.168
 2 熊本 松本・中川・森山 1:17.090
 3 長崎 西田・佐藤・阪本 1:17.980



維持会員ご賛同方お願い

日本自転車競技連盟はわが国における自転車競技界を統轄する団体として、自転車競技の普及・振興に係る諸事業を展開してまいりました。しかしながら、これら事業活動には多額の経費を要することから、経費の節約に努める一方、自主財源の増額を図る一環として、従来から維持会員制度に基づき会員各位のご支援を頂いております。

まもなく開催されるリオデジャネイロのオリンピック・パラリンピックのメダル獲得に向けて、更に4年後に迫った2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催成功とメダル獲得を目標に関係者一同が一丸となり邁進して参ります。

つきましては、出費ご多端の折誠に恐縮とは存じますが、何卒かかる実情をご理解いただき、自転車競技のより一層の健全な強化普及・振興のためご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

平成28年7月
 公益財団法人 日本自転車競技連盟
 会長 橋本 聖子

記

1. 維持会費

個人会員 年額10,000円を一口とし、一口以上。
 団体会員 年額50,000円を一口とし、一口以上。

2. ご送金について

所定の申込用紙にご記入いただき、お申込みの上
 下記口座にお振込み下さいますようお願い申し上げます。
 リソナ銀行 東京公務部 普通預金口座 6104013 (公財) 日本自転車競技連盟

平成27年度 公益財団法人日本自転車競技連盟 維持会員

団体会員

アマスポーツジャパン株式会社/株式会社 シマノ/株式会社車両スポーツ映像/ダイワボウプログレス株式会社
 株式会社日刊プロスポーツ新聞社/一般財団法人日本サイクルスポーツセンター/日本写真判定株式会社
 日本道路株式会社/日本プロフェッショナルサイクリスト協会/パナソニックサイクルテック株式会社/株式会社深谷産業
 有限会社メダリストプランニング

個人会員

穴田 勝彦/伊熊 牧治/岩井正二郎/江國 健夫/江崎 乙澄/江原 敏郎/大島 研一/岡田 行雄/岡本 雄作
 斧 隆夫/亀田 博文/川手 一則/坂井田米治/坂巻 正巳/佐久間重光/佐久間信司郎/佐々木正人/清水 一孝
 高橋 博/田中 八郎/中田 将次/中村 雅章/平野 禎/藤原 盛一/星 進一/程原 邦夫/松倉 信裕
 松村 友子/松村 正之/実 和也/村田 隆宣/安田 光義/山崎 好弘/渡邊 淳 (敬称略)

※お名前の掲載を望まれない方は控えさせて頂きました。

男子エリート・ロードレースランキング

2016/6/30

順位	名前	所属	合計	T北海道	T北海道	全日本	世界選	Japan	ウールド	アジア選	アジア選	TUJ	TUJ	TUJ	TUJ	TUJ	熊野	熊野	熊野	全日本	全日本	
				総合	3 St	実業団	9/27	10/18	11/8	IT	9/27	10/18	11/8	1/21	1/24	5/29-6/5	5/29	5/30	6/4	6/5	6/16-19	6/17
1	新城 幸也	JPCA	139p				10	40			70	5			14							
2	西園 良太	鹿児島	98p	10								3								30	55	
3	初山 翔	神奈川	85p					4	8			3									70	
4	増田 成幸	栃木	75p							7		20	3							20	25	
5	木村 圭佑	滋賀	41p																1		40	
6	別府 史之	JPCA	40p								40											
7	入部 正太郎	奈良	36p	3					30								3					
8	石橋 学	青森	33p																	3	30	
9	佐野 淳哉	静岡	25p																	25		
10	鈴木 龍	宮城	24p						3									1			20	
11	野中 竜馬	広島	19p			4															15	
12	畑中 勇介	東京	18p			10		8														
12	伊藤 雅和	愛知	18p									3					15					
14	鈴木 謙	栃木	15p																	15		
15	内間 康平	沖縄	12p	6												3	3					
16	阿部 嵩之	栃木	10p																	10		
16	平井 栄一	神奈川	10p																		10	
16	井上 和郎	福井	10p						10													
19	鈴木 真理	栃木	7p			7																
19	大久保 陣	鹿児島	7p																7			
21	橋 大志	東京	5p																	5		
21	土井 雪広	山形	5p																		5	
23	山下 貴宏	兵庫	3p																		3	
23	窪木 一茂	和歌山	3p											3								
23	早川 朋宏	愛知	3p									3										
23	堀 孝明	栃木	3p									3										
27	黒枝 咲哉	大分	2p		2																	
28	中村 龍太郎	千葉	1p																	1		
28	橋本 英也	岐阜	1p																	1		
28	武井 亨介	茨城	1p																	1		

第22回 アジア MTB 選手権大会

男子エリート 山本幸平 8 連覇!



第22回アジアMTB選手権大会がタイ王国チャイナット州で行われ、日本からはXCO男子エリートの山本幸平、武井亨介、平野星矢、平林安里、男子ジュニアの北林力、江越昇也、女子ジュニアの佐藤寿美、DHI男子エリートの清水一輝、永田隼也、井本はじめ、女子エリートの中川弘佳の選手11名、スタッフ6名、合計17名で参加。

5月6日10時からダウンヒル予選のシーディングラン、14時からクロスカントリー・チームリレーが行われた。

ダウンヒル・タイムセッションでは清水が1位、2位は井本。永田隼也は軽いクラッシュがあり9位となった。女子は中川弘佳が4位。

クロスカントリー・チームリレーは灼熱の中、平野、佐藤、北林、平林の順でスタート。平野は出遅れたもののすぐに挽回し、トップで第二走者の佐藤へ。参加者の中で数少ない女子ジュニアカテゴリーだが、よく健闘し5位で第三走者の北林へ。北林もきちりと走り、3位で最終走者の平林へ交代した。平林は最初から攻めて走ったが、2位の中国とは3分以上の差があったので3位でのゴールとなった。優勝は開催国のタイ。

5月7日は、クロスカントリーの男子エリートと男女ジュニアのレースが開催された。コースは一周5.2kmで日陰が一切なく、小砂利が混じった赤土にプラスして、炎天下にさらされパフパフに乾燥した滑りやすい路面。全体に直線の少なく細かいアップダウンが多い、非常に滑りやすいコースレイアウト。また40℃を超える猛暑が、一番のカギを握る。

朝8時からの女子ジュニアは佐藤寿美が出場。うす曇りで気温が上がる前の涼しい中、レースは2周で行われた。スタートで先頭に飛び出した佐藤だが、2番手にぴったりとマークしていたタイの選手が先頭に出ると、みるみる差が広がったことでリズムを崩し、5位でゴール。

14時で気温がピークを迎える中、男子ジュニアのレースは3周で行われ、北林力と江越昇也がスタート。北林は得意のスタートダッシュを決めて1周目を1位で通過。作戦通り余裕

をもったペースだったが、2周目に入ると暑さが一気に体を襲いペースダウン。3周目に入る頃には目まいも出てきたらしく、すぐにストップさせてリタイヤ。江越は暑さ順応が最もできており期待がかったが、コーナーで後続選手に突っ込まれてしまい、変速が思うように出来ない中、だましだまし走りきって7位でゴールとなった。

16時スタートの男子エリートは、強い日差しの下5周回でスタート。先頭は山本幸平、2番手に武井亨介が入りレースは進んだ。リズムよく自分のペースで走る先頭山本に対し、2番手の武井はレース後半を意識したペースで2位集団3名の先頭を走り、この日本チーム二人の走りが結果的に後続との差を広げる形となり、余裕をもって山本は8連覇を成し遂げた。武井は2位集団の先頭を終始走る形が負担になり、最終局面でじりじりと遅れを取ってしまったが、仕事をこなして4位でゴール。平野星矢はスタートで出遅れて集団に埋もれたが、最後に追い上げ5位でゴール。

エリートでの国際大会初戦となる平林安里は、ポイントがなく4列目からのスタート。集団に行く先を阻まれることは最初から予想されており、後半勝負の走りを行ったが、中盤以降暑さに体が悲鳴を上げてペースを上げることができず、19位でレースを終えた。

大会最終日はクロスカントリー・エリミネーターと、ダウンヒル決勝が行

われた。

アジア選手権初開催となるエリミネーターは、BMXコースを中心に一周900mの予選から行われた。日本からは男子に平林、江越、北林、女子に佐藤の若手中心でエントリー。予選時間が急に1時間早まるハプニングもあったが、全員予選に遅れることなくスタート。スタートダッシュとスキルに自信のある北林が順当に勝ち進んでセミファイナルに勝ち上がったが、スタートでペダルキャッチに失敗し、ポジションアップにもトライしたが落車して敗退、8位となった。

女子は佐藤が順当に勝ち進み、決勝へコマを進めた。決勝はスタートで出遅れたが、上りで挽回し3位でゴール。

午後からはダウンヒル。コースは岩がむき出しの前半に、急こう配の中盤、最後はグラウンドに土が盛られた連続のジャンプセクションがあり、グラウンドを熱風が吹き抜け、横風がジャンプに影響するアジア選手権では比較的難しいコース設定。日本勢は女子に中川弘佳が出走。前日の試走においてジャンプでクラッシュしてしまい、首にダメージが残る中でのレースとなったが、最後まで攻め続け4位でゴール。男子。井本はじめはミスもあり4位。永田は攻めた走りだったが、十分な走り込みを行ったであろうタイの選手に僅差で3位。一昨年と昨年と2位だった清水は集中力を切らさず走り切り、



3度目の挑戦でアジアチャンピオンに輝いた。

自国開催となったタイチームは、暑さとコースでの事前トレーニングなどアドバンテージはあっただろうが、近年勢いに乗っており、スキルなどのアドバンテージよりも、全体でのレベルアップを感じた。日本においてもナショナルチームとして、特にジュニアと女子の強化を行う必要性を感じる大会でもあった。

日本からたくさんの熱いご声援ありがとうございました。

(監督 鈴木雷太)

【競技結果】

第22回アジア・マウンテンバイク選手権大会 (2016/5/4-8 タイ・チャイナット)

XCO Men Elite (26km)

- | | | | |
|----|------------------|----------------|---------|
| 1 | 山本 幸平 | 北海道 Trek | 1:11:51 |
| 2 | KAZANTSEV Kirill | KAZ | 1:12:29 |
| 3 | CHAN Chun Hing | HKG | 1:13:09 |
| 4 | 武井 亨介 | 茨城 FORZA | 1:14:40 |
| 5 | 平野 星矢 | 長野 ANCHOR | 1:15:41 |
| 19 | 平林 安里 | 長野 Specialized | 1:20:37 |

XCO Men Junior (15.6km)

- | | | | |
|---|------------------|------------|-------|
| 1 | KLAHAN Afichanan | THA | 45:36 |
| 2 | LYU Xianjing | CHN | 46:26 |
| 3 | MA Hao | CHN | 46:57 |
| 7 | 江越 昇也 | 神奈川 大楠高等学校 | 51:01 |
| | 北林 力 | 長野 白馬高等学校 | DNF |

XCO Women Junior (10.4km)

- | | | | |
|---|-------------------------------|------------|-------|
| 1 | PANYAWAN Nathalie | THA | 34:54 |
| 2 | HE Guangji | CHN | 37:00 |
| 3 | MOHD FUAD Siti Nur Adiba Akma | MAS | 37:19 |
| 5 | 佐藤 寿美 | 北海道 MIYATA | 38:46 |

XCE Men (0.9km)

- | | | | |
|----|--------------------|----------------|--|
| 1 | SUKPRASART Keerati | THA | |
| 2 | CHIANG Sheng Shan | TPE | |
| 3 | KHODAYARI Farzad | IRI | |
| 8 | 北林 力 | 長野 白馬高等学校 | |
| 20 | 平林 安里 | 長野 SPECIALIZED | |
| 21 | 江越 昇也 | 神奈川 大楠高等学校 | |

XCE Women Elite (0.9km)

- | | | | |
|---|------------------------|-------------------|--|
| 1 | PHETPRAPHAN Warinthorn | THA | |
| 2 | NUNTANA Supuksorn | THA | |
| 3 | 佐藤 寿美 | 北海道 MIYATA-MERIDA | |

XC Team Relay (20.8km)

- | | | |
|---|----------------|---------|
| 1 | Thailand | 58:24 |
| 2 | China | 1:00:29 |
| 3 | 日本 平野・佐藤・北林・平林 | 1:01:32 |

DHI Men Elite (1km)

- | | | | |
|---|-------------------|--------------|----------|
| 1 | 清水 一輝 | 愛知 PATROL | 1:54.666 |
| 2 | JARUPENG Tanaphon | THA | 1:55.343 |
| 3 | 永田 隼也 | 神奈川 AKI FACT | 1:56.084 |
| 4 | 井本はじめ | 兵庫 SRAM | 1:56.714 |

DHI Women Elite (1km)

- | | | | |
|---|-------------------------|-------------|----------|
| 1 | DEEKABALLES Vipavce | THA | 2:19.773 |
| 2 | CHATKAMNOED Siraphatson | THA | 2:42.456 |
| 3 | RIYANTI Fitriyanti | INA | 2:46.549 |
| 4 | 中川 弘佳 | 大阪 LOVESPO2 | 5:53.735 |

2016年BMXアジア選手権大会

男子エリート 表彰台独占!



男子エリート決勝

2016年BMXアジア選手権大会が中国・太原で開催された。2004年に建設された今大会の会場は、2006年に初のBMXアジア選手権が開催され、2008年にはアジア初のBMX世界選手権も開催されるなど、アジアでは数少ない世界基準のコース。今年は参加国6カ国と少なめだったが、日本からは9名の選手が参加し、全カテゴリーでのタイトル獲得を狙った。

ジュニアカテゴリーでは、アジア選手権初参戦の島山紗英が女子クラスで優勝。男子は昨年に続き山口大地が優勝し、2連覇を達成した。2位には池上泰地が入賞し、日本チーム1-2フィニッシュとなった。

エリートカテゴリーは予選から中国チームに先行を許す場面が続き、女子クラスは決勝でも攻略することができず、日本の瀬古遥加は5位でレースを終えた。

男子は日本より4名の選手が決勝へ進出、吉村樹希敢が優勝し、自身初のエリートアジアタイトルを獲得した。2位には吉井康平、3位に松下翼が入り、3年連続で日本チームが表彰台を独占し、タイトルを守りきった。

年々レベルの上がるアジア圏のBMXだが、今後もシーンをリードし、8月に控えるリオ五輪でもしっかりとパフォーマンスを発揮できるよう引き続きサポートしていきます。今大会も

たくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。(三瓶 将廣)

【競技結果】

2016年BMXアジア選手権 (2016/6/12 中国・太原)

男子エリート

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 吉村樹希敢 | 大阪 CREDIT Racing |
| 2 | 吉井 康平 | 東京 MX インターナショナル |
| 3 | 松下 翼 | 神奈川 早稲田大学院 |



- | | | |
|---|-------|-------------|
| 6 | 長谷川湧斗 | 茨城 流通経済大学 |
| | 三瓶 貴公 | サイバー大学 予選敗退 |

女子エリート

- | | | |
|---|-------------|----------|
| 1 | Lu Yan | CHN |
| 2 | Zhang Ya Ru | CHN |
| 3 | Hao Cui | CHN |
| 5 | 瀬古 遥加 | 三重 至学館大学 |

男子ジュニア

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| 1 | 山口 大地 | 新潟 帝京長岡高等学校 |
| 2 | 池上 泰地 | 大阪 Team Kuwahara |
| 3 | Miao Run Peng | CHN |

女子ジュニア

- | | | |
|---|---------------|--------------|
| 1 | 島山 紗英 | 神奈川 白鷺女子高等学校 |
| 2 | Wong Meng Yao | CHN |
| 3 | Weng Pei Pei | CHN |



富士山ステージ優勝で総合優勝へつなげたプジョル

第1ステージ 堺

5月29日(日)から始まったツアー・オブ・ジャパン2016。第1ステージ堺は大阪府堺市の大仙公園を1周する2.65kmの個人TT。およそ平坦だがコーナーが連続する区間などあり、パワーとテクニックの両方必要なコース。ここを平均時速47.9km/hで駆け抜けたアンソニー・ジャコッポ(アヴァンティ)が優勝。

日本人では増田成幸(ブリッツェン)が2秒差の3位に食い込んだ。アンソニー・ジャコッポは2012年ツール・ド・熊野プロロード優勝など、経験のあるオールラウンダー。

第2ステージ 京都

5月30日(月)に行われた第2ステージ京都は、京都府南部の京田辺市と精華町が舞台の1周16.8kmを6周半する105kmで、アップダウンとカーブなど変化に富むテクニカルなコース。

1周目から地元京田辺市在住の小石祐馬(NIPPO)ら4人が逃げ、メイン集団に最大3分40秒差をつける。しかしメイン集団も追いつけ5周目後半に逃がえ吸収、その直後から逃げができるがこれをランプレ・メリダ中心に追いつけ、60人ほどの集団でフィニッシュへ。

これを圧倒的なスプリントでチモライ(ランプレ)が制した。2位にピエールパオロ・デネグリ(NIPPO)そして3位に窪木一茂(同)が入り、個人総合リーダーはデネグリとなった。



京都ステージ

第3ステージ 美濃

3日目第3ステージは美濃。岐阜県美濃市での1周21.3kmを6周半する139.4kmで、標高差80mほどのやや急な山岳ポイントがあるがほかは道幅の広い平坦な道路。前日の京都とは正反対なレイアウトで、スプリンター向けのコース。



美濃ステージのスタート前

美濃市は国指定重要伝統的建造物群保存地区が中心部にあり、うだつの上がる町並みとして有名。ここがセレモニーランのスタート地点で、もう一つの国指定が本美濃紙(和紙)で、この和紙の里会館がフィニッシュ地点。

旧今井家住宅前をスタートした91名の選手は、長良川や板取川沿いのコースを周回。序盤に3名の逃げが決まり、メイン集団に最大3分30秒のタイム差をつける。

メイン集団もリーダーチームのNIPPOを中心に追いつけ、ラスト7kmで逃がえ吸収。フィニッシュ地点まで大集団で進み、約70名のスプリント勝負をアンソニー・ジャコッポが制し、大会2勝目を挙げ同時に個人総合時間でリーダーに返り咲いた。



美濃ステージ

第4ステージ いなべ

昨年大会から2回目の開催となる第4ステージいなべは、三重県いなべ市の15.2kmコースを8周する130.7km。セレモニーランのスタート地点は、三岐鉄道北勢線の終着駅である阿下喜(あげき)駅。そしてコース北側の農業公園にフィニッシュ地点があり、その1km先のKOMが最高地点。KOMまでの1kmは狭く急こう配で、集団が分断されやすいもの。

この日も風は強いものの好天に恵まれ、レース序盤からモハンマド・ラジャブルー(ピシュガマン)、メヘディ・ソフラビ(タブリーズ)そして佐野淳哉(マトリックス)の3人が逃げ続け、メイン集団とのタイム差を最大7分にまで広げる。

終盤へ向けてメイン集団はタイム差を詰めるが、イラン勢2人になった先頭もペースを緩めない。

最終週の登りでメイン集団から4名が抜け出して追うものの届かず、ラジャブルーが先着、ソフラビが2位に。

レース序盤からラヒーム・エマミ(ピシュガマン)が単独で、中盤過ぎて内間康平(アンカー)が単独で逃げる展開に。内間とメイン集団とのタイム差は最大で3分を超える。

最終周に入ってもタイム差は1分50秒で、内間が逃げ切りかと思われたが、メイン集団も猛追しラスト500mでキャッチ。

39名によるスプリントを、新人賞ジャージのダニエル アレクサンデル・ハラミヨ(ユナイテッドヘルスケア)が制した。

第6ステージ 富士山

大きく総合順位の入替わる第6ステージ富士山は6月3日(金)、静岡県小山町のふじあざみラインで行なわれた。距離11.4km、最大勾配22%、中間過ぎは平均18%が続く日本を代表する激坂。

コースレコードは昨年にラヒーム・エマミが出した38分27秒。日本人の最高は、2010年にJツアー富士山で森本誠が出した42分11秒。

小山町生涯学習センターからセレモニーランでスタート地点に到着した84名の選手は、10時ちょうどに富士山五合目を目指してスタート。中盤までは例年になく集団が進むが、中間の馬返し付近を過ぎて20名ほどに。

ガーデル・ミズバニ・イラナグ(タブリーズ)、昨年ステージ1位・2位のポルセイエディゴラコール(タブリーズ)とエマミ、そしてオスカル・プジョル(チーム右京)の4名が先頭集団を作る。

ラスト4kmでプジョルがアタック

南信州ステージのパレード



南信州ステージ



いなべステージ序盤から逃げる3人



第5ステージ 南信州

第5ステージは6月2日(木)、長野県飯田市で行なわれた。コースはパレードの後1周12.2kmを10周しフィニッシュまでの1.6kmを走る123.6kmの山岳ステージ。

するとすぐに差が開き、タイム差は30秒を超える。その後もプジョルのペースは衰えず、38分48秒と歴代2位の好タイムで優勝。2位以下とのタイム差により、プジョルが個人総合リーダーとなった。

また西園良太(アンカー)は、日本人コースレコードを26秒更新する41分45秒でフィニッシュした。

第7ステージ 伊豆

6月4日(土)、静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンターで第7ステージが行なわれた。コースは5kmサーキットと競輪学校を含む園内外の道路をつないだ1周12.2kmで、総標高差は3750mに達する山岳ステージ。



競輪学校の生徒が応援する伊豆ステージ

レースは1周目から速いペースで進み、約30名で2周目へ。ここから3名が抜け出し、後続に最大3分のタイム差をつける。先頭には個人総合3位のミルサマ・ポルセイエディゴラコールが入る。後続集団はチームで単独となったリーダーのオスカル・プジョル自身が先頭を引く。

後半に入り後続は、総合2位のマルコス・ガルシア(キナン)のアシストのためジャイ・クロフォード(同)が牽引に加わり、最終周に3人の逃げを吸収する。

そしてラスト600mで新城幸也(ランプレ)がアタックして先行し、後続に2秒差をつけてステージ優勝。新城は2月12日に、レース中の落車で、大腿骨骨折の大きけを負っていた。わずか4か月弱でのこの結果は、完全復活を証明するもの。

第8ステージ 東京

初の8日間・8ステージとなった今年のツアー・オブ・ジャパン。その最終ステージが6月5日(日)、東京・日比谷公園から大井ふ頭周回コースで行われた。

正式スタートが切られるとすぐにアタック合戦となり、大井ふ頭周回コースに入ってから10人の逃げが決

まる。

メイン集団とのタイム差は最大2分半となるが、逃げには前日の覇者、新城幸也や内間康平ら逃げを得意とする選手たちが入ったため差が詰まらない。

最終周に入り、逃げの10人の中でも攻防が繰り広げられるが崩れず、ゴールスプリントをサム・クローム(アヴァンティ)が制した。個人総合は、1分05秒のタイム差を保ったオスカル・プジョル(チーム右京)が優勝した。(大会公式ウェブより)



東京ステージのフィニッシュ

【競技結果】

ツアー・オブ・ジャパン
(2016/5/29-6/5 大阪~東京)



個人総合順位

- 1 PUJOL MUNOZ Oscar UKO19:22:37
- 2 GARCIA Marcos KIN 19:23:42
- 3 POURSEYEDIGOLAKHOUR Mirsamad TST 19:23:45
- 4 WHITEHOUSE Daniel TSG19:24:00
- 5 EMAMI Rahim PKY19:24:01
- 6 MIZBANI IRANAGH GhaderTST 19:24:20

団体総合順位

- 1 TABRIZ SHAHRDARI 58:16:01
- 2 PISHGAMAN CYCLING 58:19:24
- 3 BRIDGESTONE ANCHOR 58:20:25

ポイント賞

- 1 DE NEGRI Pier Paolo NIP 74p
- 2 GIACOPPO Anthony AIW 67p
- 3 JARAMILLO DIEZ Daniel Alexander UHC 61p

山岳賞

- 1 POURSEYEDIGOLAKHOUR Mirsamad TST 23p
- 2 EMAMI Rahim PKY 20p
- 3 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 15p

1st Stage Sakai (2.65km)

- 1 GIACOPPO Anthony AIW 3:19:00
- 2 ALZATE ESCOBAR Carlos Eduardo UHC 3:19:23
- 3 増田 成幸 BLZ 3:21:87
- 4 中根 英登 AIS 3:22:86
- 5 ABERASTURI IZAGA JonUKO 3:22:95
- 6 HUCKER Robbie AIW 3:23:00

2nd Stage Kyoto (105.0km)

- 1 CIMOLAI Davide LAM 2:49:08
- 2 DE NEGRI Pier Paolo NIP 2:49:08
- 3 窪木 一茂 NIP 2:49:08
- 4 ABERASTURI IZAGA JonUKO 2:49:08
- 5 GIACOPPO Anthony AIW 2:49:08
- 6 HUCKER Robbie AIW 2:49:08

3rd Stage Mino (139.4km)

- 1 GIACOPPO Anthony AIW 3:24:00"
- 2 ABERASTURI IZAGA JonUKO 3:24:00
- 3 DE NEGRI Pier Paolo NIP 3:24:00
- 4 ALZATE ESCOBAR Carlos Eduardo UHC 3:24:00
- 5 HUCKER Robbie AIW 3:24:00
- 6 KUMP MARKO Kump LAM 3:24:00

4th Stage Inabe (130.7km)

- 1 RAJABLOU MohammadPKY 3:23:25
- 2 SOHRABI Mehdi TST 3:23:25
- 3 JARAMILLO DIEZ Daniel Alexander UHC 3:24:14
- 4 DE NEGRI Pier Paolo NIP 3:24:14

- 5 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 3:24:14
- 6 中根 英登 AIS 3:24:14

5th Stage Minami Shinshu (123.6km)

- 1 JARAMILLO DIEZ Daniel Alexander UHC 3:18:08
- 2 GIACOPPO Anthony AIW 3:18:08
- 3 DE NEGRI Pier Paolo NIP 3:18:08
- 4 PRADES Benjamin UKO 3:18:08
- 5 新城 幸也 LAM 3:18:08
- 6 BAYLY Cameron ATG 3:18:08

6th Stage Fujisan (11.4km)

- 1 PUJOL MUNOZ Oscar UKO 38:48
- 2 GARCIA Marcos KIN 39:44
- 3 POURSEYEDIGOLAKHOUR Mirsamad TST 39:58
- 4 WHITEHOUSE Daniel TSG 40:02
- 5 EMAMI Rahim PKY 40:06
- 6 MIZBANI IRANAGH GhaderTST 40:20

7th Stage Izu (122.0km)

- 1 新城 幸也 LAM 3:27:00
- 2 BAYLY Cameron ATG 3:27:02
- 3 JARAMILLO DIEZ Daniel Alexander UHC 3:27:05
- 4 HUCKER Robbie AIW 3:27:05
- 5 LEBAS Thomas BGT 3:27:05
- 6 GARCIA Marcos KIN 3:27:08

8th Stage Tokyo (112.7km)

- 1 CROME Sam AIW 2:17:29
- 2 MOAZEMI GOUDARZI Arvin PKY 2:17:29
- 3 内間 康平 BGT 2:17:29
- 4 入部正太郎 SMN 2:17:29
- 5 HEGYVARY Adrian UHC 2:17:29
- 6 鈴木 譲 BLZ 2:17:36



日本新記録

Japan New Record

■スタンディングスタート

・3km

女子エリート 3'37"112 梶原 悠未 (埼玉・筑波大) 2016/7/2 長野・美鈴湖自転車競技場

今後の大会予定

期 日	大 会 名	種 目	場 所
8月5日～21日	第31回オリンピック競技大会	RR/TR/MTB/BMX	ブラジル/リオデジャネイロ
8月6日～7日	JOCカップ2016全国ユース選抜マウンテンバイク大会	MTB	長野県/白馬村
8月20日～21日	JOCジュニアオリンピックカップ	TR	静岡/伊豆ペロドローム
8月21日	シマノ鈴鹿国際ロード	RR	鈴鹿サーキット
8月25日～28日	文部科学大臣杯第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR/RR	静岡県/日本サイクルスポーツセンター
9月1日～3日	ツール・ド・北海道	RR	北海道(道央)
9月3日～4日	Coupe du Japon 2016 やまぐち十種ヶ峰国際 DHI	MTB	山口県/山口市
9月6日～8日	全国都道府県対抗自転車競技大会	TR/RR	愛媛県/松山市/今治市
9月6日～11日	UCI世界選手権大会-MTB DH/トライアル	MTB	イタリア/ヴァルディソーレ
9月7日～18日	第15回パラリンピック競技大会	PARA	ブラジル/リオデジャネイロ
9月10日～11日	Coupe du Japon 白馬マウンテンバイク大会 XCO	MTB	長野県/白馬村
9月11日	第6回JBCF タイムトライアルチャンピオンシップ	RR	渡良瀬遊水地
9月17日～18日	2016 室内自転車競技ジャパンカップ	Indoor	大阪府
9月17日～18日	Coupe du Japon ウイングヒルズ大会 DHI	MTB	岐阜県/郡上市
9月23日～25日	Coupe du Japon 妙高杉ノ原STAGE DHI, XCO	MTB	新潟県/妙高市
9月24日～25日	日本スポーツマスターズ2016・自転車競技	TR	秋田県/美郷町六郷

NEWS

加盟団体 事務局 住所等変更

●宮崎県自転車競技連盟

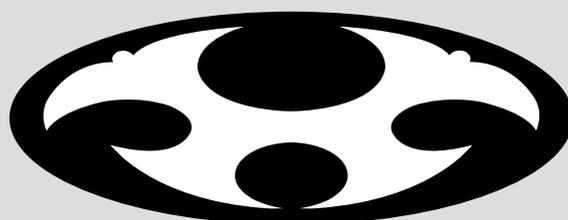
〒885-0084 宮崎県都城市五十町2400 都城工業高校内 大庭様 TEL:0986-22-4349

●岡山県自転車競技連盟(郵送先の変更)

〒706-8691 玉野郵便局 私書箱第33号 TEL:080-9580-6383

評議員の変更

鹿又 未可(福島県) 徳地 末広(奈良県)



Kabuto

Safety Meets Style



Twitter
@OGK_KABUTO



Facebook
www.facebook.com/ogkkabuto

UCI U23 ネイションズカップ 日本代表選手団

派遣日程 2016年5月14日～6月7日

開催場所 フランス・チェコ

代表選手団

監督 浅田 颯 (JCF 強化コーチ・ロード競技部会員)
 メカニック 市川 貴大 (JCF 強化支援スタッフ)
 選手 秋田 拓磨 (福井・シマノレーシング)
 雨澤 毅明 (栃木・宇都宮ブリッツェン)
 石上 優大 (神奈川・EQADS)
 新城 雄大 (沖縄・EQADS)
 津村 翔平 (神奈川・EQADS)

UCI ジュニアネイションズカップ 日本代表選手団

派遣日程 2016年5月18日～5月31日

開催場所 フランス・スイス

代表選手団

監督 柿木 孝之 (JCF 強化コーチ・ジュニア強化育成部会員)
 メカニック 中村 仁 (JCF 強化支援スタッフ)
 選手 沢田桂太郎 (宮城・日本大学)
 渡邊 歩 (福島・EQADS)
 曾我部厚誠 (大阪・京都産業大学)
 日野 竜嘉 (愛媛・ボンシャンス)
 小野 寛斗 (神奈川・横浜高等学校)
 尾形 尚彦 (宮城・東北高等学校)

第19回ツアー・オブ・ジャパン 日本代表選手団

大会名 第19回ツアー・オブ・ジャパン

大会日程 2016年5月29日～6月5日

派遣日程 2016年5月28日～6月5日

開催場所 堺・京都・美濃・いなべ・南信州・富士山・伊豆・東京 (全8ステージ)

代表選手団

監督 橋川 健 (JCF ロード競技部会員)
 メカニック 高橋 優平 (JCF ロード強化支援スタッフ)
 マッサー 井上 良輝 (JCF ロード強化支援スタッフ)
 選手 中村龍太郎 (千葉・イナメ信濃山形)
 孫崎 大樹 (京都・早稲田大学)
 岡本 隼 (和歌山・日本大学)
 黒枝 咲哉 (大分・鹿屋体育大学)
 間瀬 勇毅 (大阪・京都産業大学)
 小玉 凌 (愛知・中京大学)

2016 台湾トラックカップ大会派遣日本選手団

大会名 2016Taiwan Track Cup International Classic I・II

大会日程 2016年6月2日～4日

派遣日程 2016年5月31日～6月5日

開催場所 チャイニーズタイペイ・新竹市

代表選手団

監督 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)
 コーチ 狩野 良太 (JCF 強化支援スタッフ)
 マッサー 奥隅 信幸 (JCF 強化支援スタッフ)
 選手 宮本 隼輔 (山口・中央大学)
 堀 航輝 (香川・鹿屋体育大学)
 小原 佑太 (青森・朝日大学)
 今村 駿介 (福岡・中央大学)
 石井 貴子 (JPCA・JPCU 千葉)
 前田佳代乃 (京都)
 鈴木 奈央 (静岡・JPCU 静岡)

2016トラックドイツ大会
日本代表選手団大会名 コト布斯・スプリンターカップ 6/4-5
ドイツグランプリ 6/10-11

大会日程 2016年6月4日～6月5日

2016年6月10日～6月11日

派遣日程 2016年6月1日～6月13日

開催場所 ドイツ連邦共和国・コト布斯

代表選手団

監督 坂本 勉 (短距離ヘッドコーチ)
 メカニック 森 昭雄 (JCF 強化支援スタッフ)
 マッサー 中山 真臣 (JCF 強化支援スタッフ)
 スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)
 選手 中川誠一郎 (JPCA・JPCU 熊本)
 渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)
 脇本 雄太 (JPCA・JPCU 福井)

COURSE DE LA PAIX U23
日本代表選手団

大会名 COURSE DE LA PAIX U23

大会日程 6月3日～5日

6月3日 1st. Jeseník - Rýmařov / 134 km

6月4日 2st. Krnov - Dlouhé stráně / 123 km

6月5日 3st. Jeseník - Jeseník / 160 km

開催場所 チェコ共和国東部イエセニック周辺

代表選手団

選手 秋田 拓磨 (福井・シマノレーシング)
 雨澤 毅明 (栃木・宇都宮ブリッツェン)
 新城 雄大 (沖縄・EQADS)
 石上 優大 (神奈川・EQADS)
 中村 圭佑 (神奈川・ボンシャンス飯田)
 津村 翔平 (神奈川・EQADS)

2016 UCI ジュニアネイションズカップ
大会派遣日本選手団大会名 2016UCI ジュニアネイションズカップ
(ドイツ・トロフェオカールスベルク)

開催日程 2016年6月17日～19日

派遣日程 2016年6月15日～21日

開催場所 ドイツ

代表選手団

監督 柿木 孝之 (JCF 強化コーチ・ジュニア強化育成部会員)
 メカニック 中村 仁 (JCF 強化支援スタッフ)
 選手 渡邊 歩 (福島・EQADS)
 日野 竜嘉 (愛媛・ボンシャンス)
 重満 丈 (沖縄・北中城高校)
 成海 大聖 (沖縄・普天間高校)
 奥村 十夢 (奈良・榛生昇陽高校)

第63回 全日本プロ選手権 自転車競技大会



男子ケイリン決勝のフィニッシュ



チームスプリント優勝の中部地区

5月23日伊東温泉競輪場において第63回全日本プロ選手権自転車競技大会トラック・レースが開催された。中でもリオ五輪に出場予定の競輪選手が勢ぞろいし、中川誠一郎はスプリント優勝、脇本雄太はケイリン優勝、渡邊一成は1kmタイムトライアル2位という結果であった。

【競技結果】

第63回全日本プロ選手権自転車競技大会
トラック・レース
(2016/5/23 静岡・伊東温泉競輪場)

スプリント

- 1 中川誠一郎 熊本 九州地区
- 2 雨谷 一樹 栃木 関東地区
- 3 鈴木謙太郎 茨城 関東地区

1kmタイムトライアル

- 1 早坂 秀悟 宮城 北日本地区1:04.375
- 2 渡邊 一成 福島 北日本地区1:04.528
- 3 加賀山 淳 千葉 南関東地区1:05.424

ケイリン

- 1 脇本 雄太 福井 近畿地区
- 2 稲垣 裕之 京都 近畿地区
- 3 武田 豊樹 茨城 関東地区

4km個人IP-シュート

- 1 北津留 翼 福岡 九州地区 4:44.936
- 2 岡嶋 登 大阪 近畿地区 4:46.529
- 3 渡邊 正光 福島 北日本地区 4:49.839

リレー

- 1 小林 潤二 群馬 関東地区
- 2 松尾信太郎 福岡 九州地区
- 3 西村 光太 三重 中部地区

チームスプリント

- 1 中部地区 浅井・柴崎・伊藤 1:02.516
- 2 南関東地区 郡司・和田・巴 1:02.712
- 3 関東地区 小田倉・長島・金子1:02.990

4kmチームIP-シュート

- 1 北日本地区 坂本・守澤・菅田・新山 4:25.932
- 2 四国地区 鳥生・渡部・篠原・藤岡 4:29.808
- 3 九州地区 加藤・安東・小岩・鈴木 4:29.824

ミカド娘カップ

- 1 児玉 碧衣 福岡
- 2 林 真奈美 福岡
- 3 小林 莉子 東京



個人IP優勝の北津留



男子エリート優勝の山本

やわたはま国際MTBレース2016が、5月14日から15日まで、愛媛県八幡浜市八幡浜市民スポーツパークで開催された。

今回の男子エリートは、リオデジャネイロオリンピック代表選考会を兼ねた大会となり、2004年のアテネオリンピック以降4回目の日本代表を決める選考レースに採用された。

コースは八幡浜市の熱意により、アジア圏唯一の国際認定コース(UCI Class1)に整備され、国際入賞ポイントも獲得できる海外からも注目の大会となった。

男子エリートは68名が出走。レース序盤から優勝候補の山本幸平(トレックファクトリーレーシング)が先頭グループにつけ、4周目にはトップ争いが中原義貴(BH SRサツアー)との二人に絞られた。6周目には山本の独走状態となり、そのままフィニッシュし優勝。山本はリオオリンピック代表をほぼ手中に収めた。また、女子エリートはスタート直後から飛び出した末政実緒(スラム・ライテック)が、独走状態で優勝を飾った。

今後この大会は、2020年東京オリンピックを見据え、これまで以上に国際的な大会に発展するものと思われる。(JCF 広報委員長・坂井田米治)



男子ジュニアのスタート。#425が優勝のPAUL 女子エリートの末政



男子 U23 優勝の松田



女子ジュニア優勝の佐藤

【競技結果】

Coupe du Japon やわたはま国際 XCO
(2016/5/14-15 愛媛・八幡浜)

男子U1-ト (30.1km)

- 1 山本 幸平 北海道 TREK 1:36:41.31
- 2 中原 義貴 大阪 BH SR 1:37:24.02
- 3 沢田 時 滋賀 Anchor 1:38:09.31

女子U1-ト (25.8km)

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:45:23.51
- 2 刈- 美枝子 埼玉 Carey 1:53:36.01
- 3 小林可奈子 長野 安曇野 1:54:45.95

男子U23 (25.8km)

- 1 松田賢太郎 神奈川 KIRIN 1:42:15.80
- 2 山内 健正 新潟 アウトドア校 1:42:59.85
- 3 鈴木 謙太 静岡 カリモノング 1:50:33.94

男子ジュニア (21.5km)

- 1 PAUL Wright NZL 1:15:22.33
- 2 北林 力 長野 ProRide 1:15:49.25
- 3 上野 蓮 福岡 Kapelmuur 1:16:31.54

女子ジュニア (17.2km)

- 1 佐藤 寿美 北海道 MIYATA 1:18:18.02
- 2 石田 恵 京都 茨テド 8461:34:00.86

男子マスターズ (21.5km)

- 1 大橋 優 奈良 Poppo 1:23:15.34
- 2 酒居 良和 広島 マクテボ* 1:23:23.23
- 3 澤田 泰征 東京 VOLCA 1:23:42.72

女子マスターズ (17.2km)

- 1 北島 優子 千葉 SICK 1:52:28.76

男子1-ス (12.9km)

- 1 村上功太郎 愛媛 こけむしろ 43:59.58
- 2 山口 創平 滋賀 ProRide 45:22.08
- 3 神永 真一 大阪 ProRide 45:27.74

女子1-ス (8.6km)

- 1 小林あかり 長野 安曇野 37:46.55
- 2 川口うらら 兵庫 Sonic-R. 43:01.10
- 3 中島 悠里 山梨 maillot 44:36.69



エイチ・アイ・エスは
世界に挑み続けるアスリート・チームを
サポートしています。



株式会社 エイチ・アイ・エス 関東法人団体専門店事業部 法人営業グループ 東京スポーツイベントセクション
電話：03-6836-2550 営業時間：平日 10:00~18:30 / 土 10:00~15:30 / 日・祝休 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-33-8 サウスゲート新宿ビル 1 階

<http://www.sports-his.com>

第33回 全日本BMX選手権大会



第33回全日本BMX選手権大会が、7月2日から3日まで、大阪府堺市大泉緑地公園サイクルどろんこ広場BMXトラックで開催された。

今回行われた大泉緑地公園のコースは大変歴史があり、普段から誰でも使用できる常設のコース。何度が改良され、現在は国際公認コースとなっている。

第1日目はタイムトライアル競技が行われ、第2日目にレース競技が行われた。レース競技当日は梅雨の合間の大変暑い日となったが会場には、多くの観客が詰めかけた。何とんでも男子エリートでリオデジャネイロオリンピック代表の長迫吉拓（MXインターナショナル）の大会6連覇なるかが注目された。

決勝では地元大阪の吉村樹希敢（クレジットレーシング）が、スタートでのトップ争いで前に出て第1コーナーをトップで通過。追撃する長迫が第2ストレートのジャンプでミスをしたこともあり、吉村がそのままトップでフィニッシュした。吉村の優勝はジュニア時代以来で、エリートでは初の優勝となった。この他のカテゴリーでも白熱したレースが繰り広げられ、2020東京オリンピックに向けてさらなる活躍が期待される大会となった。

（JCF 広報委員長・坂井田米治）

【競技結果】

第33回全日本BMX選手権大会
(2016/7/2-3 大阪・堺)

男子エリート

- 1 YOSHIMURA Jukiya
- 2 NAGASAKO Yoshitaku
- 3 SAKAMOTO Akifumi

女子エリート

- 1 SEKO Haruka
- 2 IIBATA Miki
- 3 ASAHINA Ayaka

男子ジュニア

- 1 YAMAGUCHI Daichi
- 2 IKEGAMI Taichi
- 3 SUGIYAMA Go

女子ジュニア

- 1 HATAKEYAMA Sae



男子エリートの吉村



女子ジュニアの畠山



男子ジュニアの山口

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.219 2016年6・7月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>